

よこて ネット

秋田県立横手支援学校

支援部報 No. 3
令和2年10月15日

小学部交流及び共同学習について 障害理解授業の紹介

小学部特別支援コーディネーター 佐藤 深雪

横手支援学校では、旭小学校と吉田小学校との交流及び共同学習を実施しています。旭小学校とは今年度で38年目、吉田小学校は7年目になります。支援部では、交流会に向けた障害理解の出前授業を実施しています。今年度は、各校の先生方と相談して、めあてを『知らないという「障がい」をなくすためには?』として、見えにくい「障がい」や、障害に関するピクトグラム、世間にある四つのバリア、体験を通した「分からない不安」などについて、ペアトークや体験などを通して学習をしました。また、「心のバリアフリー」にも触れ、横手支援学校の子どもたちと、気持ちのよい交流会にするために、「自分たちは何ができるか」を考えてもらうきっかけとしました。



7月9日、旭小学校6年生との交流会が行われました。グループ活動は本校の読書週間に合わせて、旭小学校の児童が選んでくれた絵本の読み聞かせです。その他、低学年は毎日「きっずエアロビ」の時間に踊っているダンス、高学年は生活単元学習で制作した「わくわくテレビ」を一緒に視聴して楽しみました。



9月3日、吉田小学校5年生との交流会が行われました。グループ活動は「ジェスチャーゲーム」です。その他、低学年、高学年に分かれてフルーツバスケットを楽しみました。



今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、時間や内容も制限のある中での実施になりましたが、思いやりのある、とても温かい雰囲気にあふれた交流会となりました。

1回目は本校が会場となりましたが、2回目は11月にそれぞれの小学校で行われます。小学部の子どもたちは、また会えるのを楽しみに待っています。



横手支援学校 中学部の作業学習について

中学部 特別支援教育コーディネーター 瀬戸 実枝子

中学部の「作業学習」は、「職業・家庭科」の特に職業分野の目標及び内容を中核に据えて実施している「各教科等を合わせた指導」の一つの形態です。中学部段階からの「職業教育」を意識して、「生活する力」や「働く力」の基礎となる知識・技能・態度を育むことを目指して指導を行っています。今年度は「横手が舞台」を合言葉に、地域資源（もの・人）を活用して、三つの作業班で学習を進めています。

作業学習

【木工班】

“横手のかまくら”をイメージした「マグネット」や「コースター」などを、製作しています。のこぎりや電動糸のこ盤、卓上ボール盤などの工具を使うため、安全に作業するための指導や、正確に制作するための補助具の工夫などを、生徒と一緒に考えながら行っています。



【手工芸班】

牛乳パックを使ったリサイクルメモ帳や“横手のぼんでん”をイメージしたキーホルダーを製作しています。今年度は、布製品作り（マスク）にも挑戦しています。

車いすの生徒が多く在籍していますが、「自分から、自分で、精一杯自分の役割を果たす」ことを意識して、それぞれが分担して製品作り取り組んでいます。



【農耕班】

野菜の栽培や花壇の整備、“ミニかまくら”の中にもすろろそく作りなどの作業に取り組んでいます。今年度は、伝統野菜「山内いもの子」の栽培にも挑戦しています。栽培や製作の基礎的な技術を外部の方からも学ぶなど、「横手が舞台」として作業に取り組んでいます。



お知らせ

第143回秋田県種苗交換会（会場：横手体育館 他）にて、中・高等部の作業学習製品販売を10月30日（金）と11月2日（月）の2日間行います。時間は、午前10時から午後2時（予定）までです。学校農園展には、山内いもの子や横手の伝統野菜の栽培記録の展示を行います。会場にお越しの際は、ぜひご覧ください。

次号は、横手支援学校高等部の「作業学習」について、高等部 特別支援教育コーディネーターの佐藤 恵が担当します。